

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 11321465
PUBLICATION DATE : 24-11-99

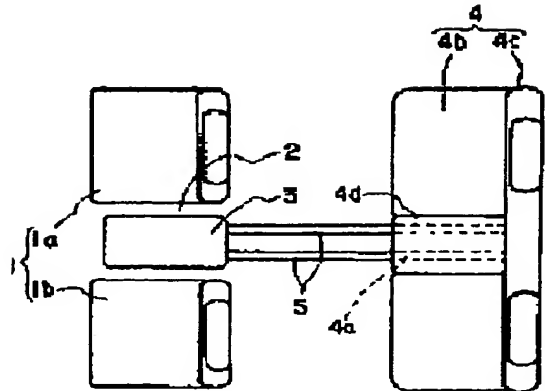
APPLICATION DATE : 18-05-98
APPLICATION NUMBER : 10135441

APPLICANT : KASAI KOGYO CO LTD;

INVENTOR : KAWASHIMA YASUOKI;

INT.CL. : B60R 7/04 B60N 3/00

TITLE : CONSOLE BOX STORING DEVICE
FOR AUTOMOBILE



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the obstacle by a console box when a person moves in the car.

SOLUTION: This automobile has a front seat 1 and a rear seat 4 and a walk through 2 in which a person can move is provided on the front seat 1. A console box 3 movable upto the rear seat 4 along a guide rail 5 laid on a floor is provided in the middle of the front seat 1. A console box storing part 4a for storing the console box 3 is provided on the sitting portion 4b of the rear seat 4 and also a vertically turnable center seat 4d is provided on the upper part of the console box storing part 4a and the console box 3 is stored into the console box storing part 4a of the rear seat 4. Thus, when a person moves in the car, the console box 3 is not in the way.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-321465

(43) 公開日 平成11年(1999)11月24日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	F I	
B 6 0 R 7/04		B 6 0 R 7/04	C
B 6 0 N 3/00		B 6 0 N 3/00	Z

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

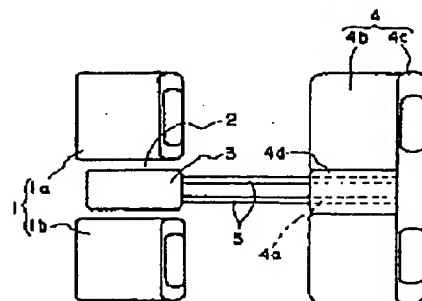
(21) 出願番号	特願平10-135441	(71) 出願人	000124454 河西工業株式会社 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地
(22) 出願日	平成10年(1998) 5月18日	(72) 発明者	櫻澤 潔 神奈川県高座郡寒川町宮山3316 河西工業株式会社寒川本社工場内
		(72) 発明者	白井 聖一 神奈川県高座郡寒川町宮山3316 河西工業株式会社寒川本社工場内
		(72) 発明者	川島 康沖 神奈川県高座郡寒川町宮山3316 河西工業株式会社寒川本社工場内
		(74) 代理人	弁理士 青木 輝夫

(54) 【発明の名称】 自動車のコンソールボックス収納装置

(57) 【要約】

【課題】 車内で人が移動する際、コンソールボックスが邪魔になる。

【解決手段】 前部座席1と後部座席4とを備え、かつ前部座席1に人が移動できるウォークスルー部2を設けた自動車において、上記前部座席1の間に、床面に布設されたガイドレール5に沿って後部座席4まで移動自在なコンソールボックス3を設け、また上記後部座席4の着座部4bには、上記コンソールボックス3を収納するコンソールボックス収納部4aを設けると共に、上記コンソールボックス収納部4aの上部に、上下方向に回動自在な中央座席4dを設けたもので、コンソールボックス3を後部座席4のコンソールボックス収納部4aへ収納することにより、人が車内を移動する際、コンソールボックス3が邪魔になることがない。



- 1 前部座席
- 1a 運転席
- 1b 助手席
- 2 フォークスルー部
- 3 コンソールボックス
- 3a 本体
- 3b 蓋部
- 4a コンソールボックス収納部
- 4b 着座部
- 4c 背当て部
- 4d 中央座席
- 5 ガイドレール
- 6 中間座席

【特許請求の範囲】

【請求項1】 前部座席と後部座席とを備え、かつ前部座席に人が移動できるウォークスルー部を設けた自動車において、上記前部座席の間に、床面に布設されたガイドレールに沿って後部座席まで移動自在なコンソールボックスを設け、また上記後部座席の着座部には、上記コンソールボックスを収納するコンソールボックス収納部を設けると共に、上記コンソールボックス収納部の上部に、上下方向に回動自在な中央座席を設けたことを特徴とする自動車のコンソールボックス収納装置。

【請求項2】 コンソールボックスの上面開口に、アームレストを兼ねた蓋体を開閉自在に設けてなる請求項1記載の自動車のコンソールボックス収納装置。

【請求項3】 コンソールボックスの上面開口に、コンソールボックスをコンソールボックス収納部に収納した際、後部座席の着座部とはほぼ同一平面となる蓋体を開閉自在に設けてなる請求項1記載の自動車のコンソールボックス収納装置。

【請求項4】 後部座席の背当て部に、中央座席を格納するための格納部を凹設してなる請求項1ないし3のうちの1項に記載の自動車のコンソールボックス収納装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は前部座席の間にウォークスルー部が設けられた自動車のコンソールボックス収納装置に関する。

【0002】

【従来の技術】5人乗りや7人乗りのように多人数の乗員が乗車可能なワンボックスカーなどの自動車には、車内での乗員の移動を容易にするため、前部座席の間にウォークスルー部を設けたものがある。

【0003】このような自動車では、乗員の移動が容易となる反面、運転席の近傍に小物などを収容するスペースがないため、運転中に小物などを取出すなどの操作ができず、不便である。

【0004】かかる不具合を改善するため、図7に示すように、前部座席aの間にコンソールボックスbを設けて、前部座席aより後部座席cへ人が移動する際には、床面に布設したガイドレールに沿ってコンソールボックスbを移動させ、前部座席aの間に人が移動するためのウォークスルー部を確保できるようにしたものがある。

【0005】また図8に示すような7人乗りの自動車の場合は、コンソールボックスbが中間座席eの間を通過して後部座席c付近まで移動できるようになっていて、前部座席aより中間座席eへ移動する場合は、コンソールボックスbを後部座席c付近まで移動させ、中間座席eより後部座席cへ移動する場合は、コンソールボックスbを前部座席aの間に移動させている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかし従来の図7に示す方法では、コンソールボックスbを後部座席c付近まで移動させて、前部座席aの間にウォークスルー部を確保しても、前部座席aより後部座席cへ人が移動する際には、コンソールボックスが邪魔になって人の移動が容易でない不具合がある。

【0007】また図8に示す方法では、前部座席aより後部座席cへ人が移動する場合、まずコンソールボックスbを後部座席c付近まで移動させて中間座席eへ人が移動し、その後コンソールボックスbを前部座席a間へ移動させて、中間座席eから後部座席cへ人が移動しなければならず、コンソールボックスbを移動させる回数が多くなって操作が煩雑であるなどの不具合がある。

【0008】この発明はかかる従来の不具合を改善するためになされたもので、コンソールボックスを後部座席内に収納できるようにした自動車のコンソールボックス収納装置を提供して、車内での人の移動が容易に行えるようにすることを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため請求項1記載の発明は、前部座席と後部座席とを備え、かつ前部座席に人が移動できるウォークスルー部を設けた自動車において、上記前部座席の間に、床面に布設されたガイドレールに沿って後部座席まで移動自在なコンソールボックスを設け、また上記後部座席の着座部には、上記コンソールボックスを収納するコンソールボックス収納部を設けると共に、上記コンソールボックス収納部の上部に、上下方向に回動自在な中央座席を設けたものである。

【0010】上記構成により、前部座席の間に設けたコンソールボックスを後部座席のコンソールボックス収納部へ収納することにより、前部座席の間のウォークスルー部を利用して車内での人の移動が容易に行えると共に、移動する際コンソールボックスが邪魔になることもない。

【0011】上記目的を達成するため請求項2記載の発明は、コンソールボックスの上面開口に、アームレストを兼ねた蓋体を開閉自在に設けたものである。

【0012】上記構成により、後部座席のコンソールボックス収納部にコンソールボックスを収納することにより、コンソールボックスの蓋体をアームレストとして使用できるため、後部座席の居住性が向上する。

【0013】上記目的を達成するため請求項3記載の発明は、コンソールボックスの上面開口に、コンソールボックスをコンソールボックス収納部に収納した際、後部座席の着座部とはほぼ同一平面となる蓋体を開閉自在に設けたものである。

【0014】上記構成により、コンソールボックスの蓋体上にも座ることができるため、後部座席の居住空間が広がる。

【0015】上記目的を達成するため、請求項4記載の発明は、後部座席の背当て部に、中央座席を格納するための格納部を凹設したものである。

【0016】上記構成により、コンソールボックス収納部へコンソールボックスを収納した際、中央座席が後部座席の背当て部前面に突出することがないので、体裁がよい。

【0017】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態を図1ないし図3に示す図面を参照して詳述する。

【0018】図1は例えば5人乗りのワンボックスカーなどの車内に設置された座席の配置を示す平面図、図2は後部座席の斜視図、図3は作用説明図である。

【0019】これら図において1は前部座席で、運転席1aと助手席1bよりなり、これら運転席1a及び助手席1bの間には、人が通り抜けるためのウォークスルー部2が設けられており、このウォークスルー部2にコンソールボックス3が設置されている。

【0020】上記コンソールボックス3の下方には、ウォークスルー部2から後部座席4の下方まで、床面に例えば2本のガイドレール5が互に平行するように布設されていて、これらガイドレール5に上記コンソールボックス3の底部に設けられた複数のスライド手段（図示せず）が摺動自在に係合されていて、コンソールボックス3が前部座席1の間より後部座席4に設けられたコンソールボックス収納部4aまで移動できるようになっている。

【0021】上記コンソールボックス3は、箱形に形成された本体3aと、この本体3aの上面開口を開閉自在に覆う蓋体3bよりなり、蓋体3bの後端が図示しないヒンジにより本体3aに蝶着されていて、このヒンジを中心に蓋体3bが上下方向へ開閉自在となっていると共に、蓋体3bの上面は弾性を有している。

【0022】一方後部座席4は、着座部4bと背当て部4cとより構成されていて、着座部4bのほぼ中央に上記コンソールボックス収納部4aが形成されている。

【0023】このコンソールボックス収納部4aは、着座部4bをコンソールボックス3の本体3aの幅よりやや大きく切欠くことにより形成されていて、ガイドレール5に沿って後方へ移動させたコンソールボックス3の本体3aがほぼ一杯に収納できるようになっており、このとき本体3aの前面と後部座席4の前面がほぼ同一平面となるようになっていないと共に、コンソールボックス3の蓋体3bは、着座部4bの上面より上方に突出して、アームレストとして使用できるようになっている。

【0024】また後部座席4のコンソールボックス収納部4aには、コンソールボックス3を前部座席1の間に移動させたときに、コンソールボックス収納部4aの上面を覆う中央座席4dが設けられている。

【0025】この中央座席4dは、後端下部が図示しな

いヒンジにより蝶着されていて、このヒンジを中心に上下方向へ回動自在となっており、図1に示すように前部座席1間のウォークスルー部2にコンソールボックス3を移動した場合は、ほぼ水平位置に倒して前端を図示しないストッパで係止することにより、上面が着座面4bとほぼ同一面となって、この中央座席4dにも人が座れると共に、コンソールボックス収納部4aにコンソールボックス3を収納した場合は、図2に示すように背当て部4cの前面に沿って起立できるようになっている。

10 【0026】次に上記構成されたコンソールボックス収納装置の作用を説明する。

【0027】平時は図1に示すようにコンソールボックス3を前部座席1の運転席1aと助手席1bの間に移動して、図示しないロック手段で固定しておけば、運転中にコンソールボックス3へ小物などを収容したり、取出す操作が容易に行えるため便利である。

【0028】また車内で人が移動する場合は、まず後部座席4の中央座席4dを上方へはね上げてコンソールボックス収納部4aを開放し、次にこの状態でロック手段を外して、ガイドレール5に沿ってコンソールボックス3をコンソールボックス収納部4a内へ図2及び図3に示すように移動させ、図示しないロック手段で固定する。

【0029】これによって前部座席1の運転席1aと助手席1bの間にウォークスルー部2が形成されるため、このウォークスルー部2を通ることにより、前部座席1より後部座席4へ移動したり、後部座席4より前部座席1へ移動する人の移動が容易に行えると共に、このときコンソールボックス3は後部座席4のコンソールボックス収納部4aに収納されているため、移動の邪魔になることがない。

【0030】なお上記実施の形態では、中央座席4dを起立させた際、背当て部4cの前面より前方へ突出してしまうが、図4及び図5に示すように、予め背当て部4cの中央部に中央座席4dが格納できる格納部4eを凹設して、中央座席4dを起立させた際、この格納部4eに中央座席4dを格納するようにすれば、図4に示すように中央座席4dが背当て部4cの前面より突出することがないため体裁がよいと共に、後部座席4が狭くなることもない。

【0031】またコンソールボックス3を前方へ移動させた場合は、図5に示すように中央座席4dをほぼ水平位置に倒して着座部4bと同一平面とすることにより、中央座席4dにも座ることができる。

【0032】一方後部座席4に起伏自在なアームレストを備えた自動車では、中央座席4dをアームレストと兼用させることもできると共に、前部座席1と後部座席4の間に図6に示すように中間座席6が設けられた7人乗りの自動車に対しても同様に対応することができる。

50 【0033】すなわち7人乗り用の座席では、前部座席

1と中間座席6の間にウォークスルー部2を設けて、コンソールボックス3を前部座席1より中間座席6のウォークスルー部2を通して後部座席4のコンソールボックス収納部4aまで移動させることにより、5人乗りの場合と同様に、車内での人の移動が容易に行えるようになる。

【0034】

【発明の効果】この発明は以上詳述したように、後部座席にコンソールボックス収納部を設けて、前部座席間のウォークスルー部に設けたコンソールボックスを、この

【0035】これによって車内での人の移動が容易に行えると共に、人が移動する毎にコンソールボックスを前後に移動させる面倒な操作を必要としないので、操作性も大幅に改善することができる。

【0036】またコンソールボックス収納部に収容したコンソールボックスは、蓋体がアームレストとして使用できるため、後部座席の居住性が向上すると共に、後部座席でもコンソールボックスが使用できるため、前部座席と同様に小物などの収納や取出しが容易に行えるようになる。

【0037】さらにコンソールボックス収納部にコンソールボックスを収納しないときには、コンソールボックス収納部の上面を中央座席で覆うことにより、中央座席に座ったり、中央座席をアームレストとして使用することができるため、コンソールボックス収納部のない後部座席と同様な居住性が得られると共に、予め背当て部に中央座席を格納する格納部を凹設しておけば、中央座席

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施の形態になるコンソールボック*

* ス収納装置の設けられた自動車の座席配置を示す平面図である。

【図2】この発明の実施の形態になるコンソールボックス収納装置の設けられた自動車の後部座席を示す斜視図である。

【図3】この発明の実施の形態になるコンソールボックス収納装置の作用説明図である。

【図4】この発明の別の実施の形態になる自動車のコンソールボックス収納装置が設けられた後部座席の斜視図である。

【図5】この発明の別の実施の形態になる自動車のコンソールボックス収納装置の作用説明図である。

【図6】この発明の別の実施の形態になるコンソールボックス収納装置が設けられた自動車の座席配置を示す平面図である。

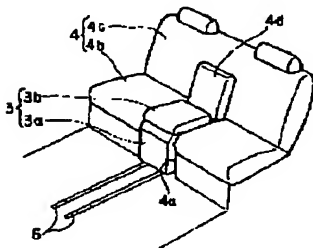
【図7】従来の自動車のコンソールボックスを示す説明図である。

【図8】従来の自動車のコンソールボックスを示す説明図である。

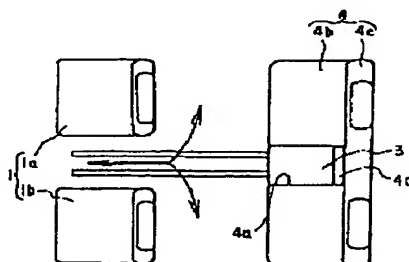
【符号の説明】

- 1 前部座席
- 1a 運転席
- 1b 助手席
- 2 ウォークスルー部
- 3 コンソールボックス
- 3a 本体
- 3b 蓋体
- 4 後部座席
- 4a コンソールボックス収納部
- 4b 着座部
- 4c 背当て部
- 4d 中央座席
- 5 ガイドレール
- 6 中間座席

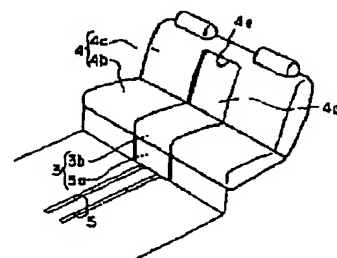
【図2】



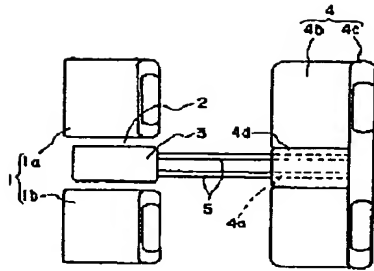
【図3】



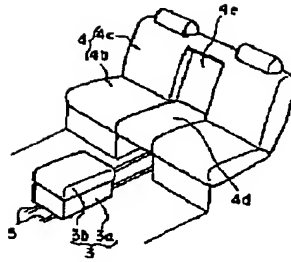
【図4】



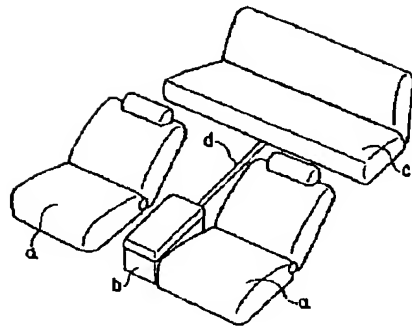
【図1】



【図5】

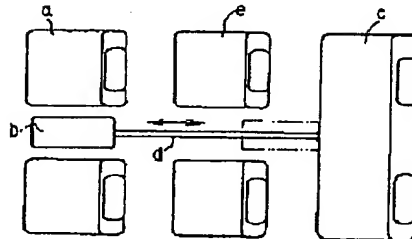


【図7】



- 1 肘部座席
 1a 前座席
 1b 後座席
 2 フォーカスルー部
 3 コンソールボックス
 3a 本体
 3b 側面
 4a コンソールボックス収納部
 4b 前部
 4c 後部
 4d 中央座席
 5 ガイドレール
 6 中間座席

【図8】



【図6】

